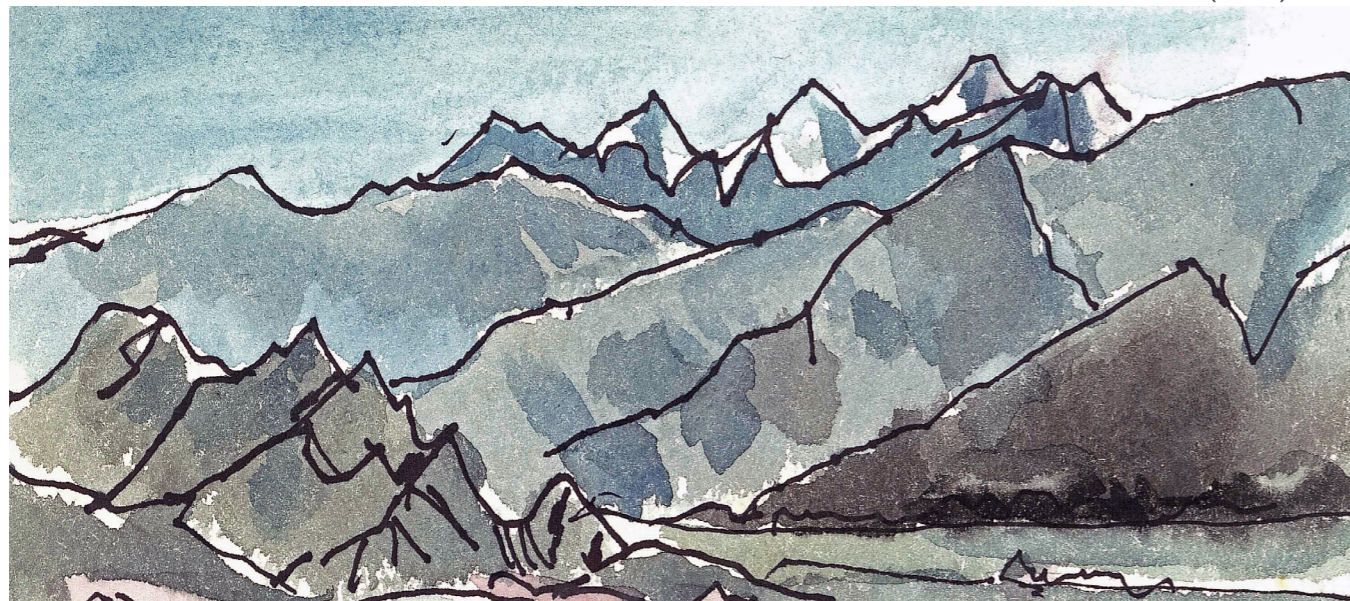


巖念寺だより

年末年始号／平成 30(2018) 年



題字 大塚婉嬢 書

菅原篤 画

●巖念寺新年会 (修正会) のご案内

毎年恒例の『巖念寺新年会 (修正会)』を下記の通り一月十四日(月/成人の日)に催したく存じます。今回も、落語の松下さんと日本舞踊の佐藤さんが、プロの腕前をしのぐ渾心の演目をご披露し、新年を御祝いしてまいります。

どうぞ楽しみに皆様お誘い合わせていらしてください。

●日時：一月十四日(月/成人の日) 午前十一時より

●場所：巖念寺

●会費：三千元

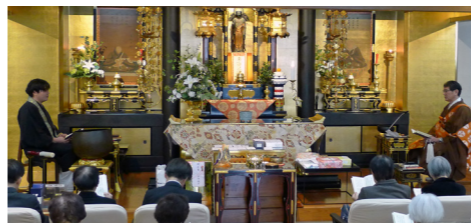
●新春のお勤め／落語／日本舞踊／お食事

●ご参加ご希望の方は、巖念寺まで電話またはファックス等で十二月二十五日までにお知らせください。

(電話) 03-3844-9383
(FAX) 03-3844-9393

新年に皆様がお元気なお姿でご参詣されますことを心よりお待ちしております。寒さの一段と厳しくなります折、どうかくれぐれもご自愛ください。

合掌



●ご奉仕・ご奉納御礼

秋のお彼岸から報恩講までに次の方々よりお手伝い・ご奉納をいただきました。心より御礼申し上げます。(順不同)

田村恵子様 深山 明様 松田義夫様
花島博明様 内田總子様 川上よし子様
熊谷友七様 横山のぶ子様 佐伯香織様
南千津子様 神谷祐紀子様 渡邊京子様
小原伯夫様 寺友会の皆様
ORIZURUの皆様

その他

〈報恩講〉

竹中直子様 西村千恵子様 金子桂子様
久保島毅様 中川智恵子様 仏木祥英様
矢野明美様 矢野初美様 野中利枝様

その他

●ご懇志御礼

秋のお彼岸から十一月までに次の方々より特別にご懇志を賜りました。心より御礼申し上げます。(順不同)

竹田富美子様 楠節子様 楠正一郎様
小野家御一同様 佐久間英雄様 櫻井忠雄様



謹啓、師走の候。年の瀬を迎え、巖念寺お檀家の皆様におかれましては、ご清祥のことと拝察申し上げます。

●年末年始のお知らせ

年末には十二月二十一日(土)からお参りの準備をいたしております。また、新年も元旦から休みなくお寺は開いておりますので、どうぞ皆様で一緒にご参詣ください。

気持ちよく新年を迎えるために、お墓をきれいにお掃除して、年末・年始を私たちにとって大切なひと時にいたしましょう。

お墓参りの際には本堂にも必ずお参りください。

※お墓の生花をご用意しておりますが、年始には生花店がお休みのため、品切れの際はどうかご容赦ください

●平成三十一年の法事年回

平成三十一(二〇一九)年は、次の年にご逝去された方々の年回法要にあたっておりますので、御案内申し上げます。

一周忌	平成三十年	二十七回忌	平成五年
三回忌	平成二十九年	三十三回忌	昭和六十二年
七回忌	平成二十五年	三十七回忌	昭和五十八年
十三回忌	平成十九年	四十三回忌	昭和五十二年
十七回忌	平成十五年	四十七回忌	昭和四十八年
二十三回忌	平成九年	五十三回忌	昭和四十五年

亡き人をしのび、私たちの生あることに感謝しご法事をお勤めください。

お寺からのご案内

今回は、近年皆様から寄せられることが多くなったお墓やご遺骨、あるいはご葬儀等の課題について、御案内させていただきます。

●建物の外装改修工事

寺の建物も三十年を迎えて、外壁の改修が必要となつてまいりました。一月中旬より三月中旬にかけて足場を組んで工事を予定しております。ご参詣には支障がないようにいたしますので、ご理解のほど宜しくお願いします。

●お墓等についてのご相談

ご相談をいただく内容で多いものとしては、①お墓を将来的に引き継いでゆくのに、後継者がいない場合にどうしたら良いのか、②地方に実家の墓があるけれども、遠方でとても墓参りに行けないので墓地の移動(改葬)を考えたいのだがどうしたら良いのか等です。

お話しを詳しくうかがってみますと、個々それぞれの事情によって一律には答えられないことがあります。そこで、状況に応じてもっとも適切で安心できるような形をご相談しながら、お元氣なうちに、ご一緒に考えるようにしております。

お彼岸やお盆など期間中では、ご相談できる十分な時間をとることはなかなか難しいので、それ以外の時期に、お電話でご予約の上いらつしやることをお勧めいたします。

●厳念寺納骨堂「安養」の御案内

既にパンフレットなどで御案内しておりますが、本堂内に納骨施設「安養」ができました。御陰様でお檀家以外の方でも、ご利用する方が増えています。

そもそも墓地の後継者の見通しがつかず、将来的にお墓の維持やご遺骨のあり方に対してどうしたら良いのかというお檀家の皆様からのご相談が少なからず寄せられておりました。

ご存知のように、既に境内に「無量寿(写真参照)」という屋外の共同供養墓がありますが、近い将来に収納スペースの確保が困難になってしまうことが予想されるため、それにお応えする一つの選択肢として、この「安養(本堂内納骨堂)」を新設することにいたしました。

詳しくは、**厳念寺のホームページ** (<https://www.gonnenji.com/>) かお寺にあるパンフレットをご覧下さい。経費的にも墓地に比べて、かなりご利用しやすい設定になっております。また、実際に内部までご覧になりたい場合には、あらかじめお電話でお知らせください。

☆一区画につき

一人利用の場合：二十七万円(十二年間分の護持管理費を含む)

二人利用の場合：三十七万円(十二年間分の護持管理費を含む)

※二人利用の場合には別途に特製納骨箱(写真参照)が必要となります。

※十二年以降もご利用の場合には、一年間につき六千円の護持管理費が必要となります。

※故人のお名前等を刻んだ銘板の費用(一万二千元)を別途いただいております。

●ご葬儀会場としてご利用ください

厳念寺をご葬儀の会場として利用される方が年々増えています。

比較的小規模にお葬式をしたい場合等に、お寺の本堂や客間を使用できます(駐車場約一〇台可)。例えば、故人が高齢で、一般会葬者がいないような家族葬でご利用されているケースが多くなっています。

葬儀社は基本的に選べます。但し、本堂を使つての葬儀ですので、法事やお寺の行事が既に入っている時には使えません。使える日まで一時的にご遺体は安置所かご自宅で安置していただいた上でお寺に移動することになります。

本堂でのご葬儀の場合は、既に斎壇に代わるような形が備わっています。したがって生花を飾るだけでも、十分にふさわしい形が整えられます(写真参照)ので、経費的にもおさえられます。詳しくはお寺までご相談ください。



●納骨堂「安養」にロウソクを

安養にお参りの際にロウソクをお供えしたいというご要望にお応えして、年末よりご用意させていただくことになりました。受付で一つ五百円でお分けいたします。どうぞお声をおかけ下さい。

■納骨堂「安養」祭壇



■納骨堂「安養」内部



■共同供養墓「無量寿」

